

第三十七回福島県建築文化賞表彰式における 知事挨拶

と き 令和四年二月九日(水) 午前十時三十分から

ところ 民報ビル ロイヤルホール

第三十七回福島県建築文化賞の表彰式に当たり、御挨拶を申し上げます。

ただ今、栄えある表彰を受けられました皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

また、お忙しい中、審査に当たってくださいました、長澤委員長を始め、審査委員の方々に厚く御礼を申し上げます。

本賞は、福島県の建築文化の発展を目的として、デザインや機能性の確保はもとより、街並みや周辺環境との調和、地域コミュニティの再生に寄与するなど、魅力あるまちづくりや震災復興の観点から、特に優れた建築物等を表彰するものです。

優れた建築物を作り出すためには、建築主の熱い思いと、設計・施工に携わる皆さんの知識・経験に基づく、優れた企画力や高度な技術力が不可欠であります。

このたび受賞された作品は、計画の段階から市民参加のワークショップを行い、全ての人々に開かれた空間として誕生した図書館や、地域の木材を活用し、歴史や伝統を重んじる城下町の街並みを継承したオフィスなど、いずれも地域の風土や文化を尊重し、魅力的な建築物を作りたいという建築主の熱意をしっかりと受け止めながら、皆さんが、技術と叡智を結集し、形にしたものであります。皆さんのこれまでの御努力と御労苦に対し、深く敬意を表します。

これらのすばらしい建築物が、将来にわたって多くの方々に愛着を持って利用され、暮らしや風景に溶け込み、様々な交流を通じて生活に潤いを与え、地域の新たな魅力として輝き続けることを御期待申し上げます。

県といたしましては、今年4月からスタートする新たな福島県総合計画の下、県土づくりと復興の礎となる社会資本の整備を進め、安全・安心で活気に満ちた「新生ふくしま」の創造に取り組んでまいりますので、皆さんにおかれましては、建築文化の創造と継承を通して、一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さんのますますの御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます、挨拶といたします。